

令和元年度
事業報告書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

社会福祉法人若狭町社会福祉協議会

法人運営事業

◇ 組織体制の強化

・理事会の開催

6月5日	第1号議案	平成30年度事業報告及び決算（監査報告）について
	第2号議案	特別手当の支給について
	第3号議案	理事、監事の選任について
	第4号議案	定時評議員会の招集について
6月21日	第1号議案	会長、副会長、常務理事の選任について
9月18日	第1号議案	赤い羽根共同募金について
	第2号議案	職員の処遇改善について
	第3号議案	経理規程の変更について
12月18日	第1号議案	上期中間監査報告と今後の事業運営について
	第2号議案	令和元年度第1次補正予算（案）について
	第3号議案	評議員会の招集について
3月18日	第1号議案	令和元年度第2次補正予算（案）について
	第2号議案	令和2年度事業計画（案）並びに予算（案）について
	第3号議案	非正規職員就業規則の変更について
	第4号議案	評議員会の招集について

・評議員会の開催

6月20日	第1号議案	平成30年度事業報告及び決算（監査報告）について
	第2号議案	理事、監事の選任について
	第3号議案	役員評議員懇談会について
12月26日	第1号議案	上期中間監査報告と今後の事業運営について
	第2号議案	令和元年度第1次補正予算（案）について
3月26日	第1号議案	令和元年度第2次補正予算（案）について
	第2号議案	令和2年度事業計画（案）並びに予算（案）について

・監事会の開催

5月17日 平成30年度決算監査

11月14日 令和元年度上期中間監査

・役員評議員合同研修会の開催

8月2日 地域福祉の推進にむけて

・三役会の開催

計13回開催し、決算の作成、理事会、評議員会の招集および議案の提出、

人事に関することについて協議しました。

・ 所長会の開催

計 15 回開催し、三役会、理事会、評議員会提出案件、事業所間および社協全体における課題と対策に関することについて協議しました。

・ 事業所会議（安全衛生委員会）の開催

計 12 回開催し、事業所内における課題と対策に関することについて協議しました。

・ 福祉サービス苦情受付窓口の設置

福祉サービス利用者からの苦情を受け付ける苦情受付窓口を設置しました。

また、苦情解決にあたり、中立・公正な立場から助言を行う第三者委員を設置しました。

○苦情受付件数 2 件

○苦情受付後の対応状況 解決 2 件

◇ 人材確保

・ 新卒職員の定期採用のため、職員募集を行いました但採用には至っていません。今年度よりインターンシップを実施し 2 名の学生を受入しました。

・ メンタルヘルスケアの充実のため参加を予定していた県社協主催の研修について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため欠席しました。県社協より同研修の資料提供を受け部署内で共有しました。

・ 職員の能力開発および適正な業務分担、職員配置を目的とした適性検査を実施しました。

・ 安定的な労働力確保のための取り組みの一環として、外国人実習生の受入を行いました。

◇ 安定した財源確保

・ 地域福祉センター泉の新たな利活用を目的とするプロジェクト委員会の 2 年目については、1 年目のマーケティング調査結果より、具体的な事業としてフィットネス事業を検討しました。しかし、若狭町の人口規模では様々な角度から試算しても事業化は困難という判断となり、「美と健康」「障がい者の活動の場」をキーワードに検討を重ねたプロジェクト委員会は今年度をもって終了する事になりました。

今後は、きらやま茶屋が中心となり、厨房を活用したカステラ製造拠点として検討を継続します。また、地域福祉の推進を目的とした高齢者の健康づくりの場として活用します。

・ 中長期的な施設の維持管理を目的とした設備等整備積立金および修繕積立金への積立を行いました。

- ・ 自主財源の活用方法の見直しとして、地域の防犯や防災の強化を目的に、本会が管理している 55 台の車両へドライブレコーダーを設置し、「地域の見守り協力車」として警察署や関係機関と連携することに社協会費を活用しました。

- ・ 社協会費、積立金実績（R2.3.31 現在）

会費	一般会費	3,527 世帯加入	3,485,951 円
	特別会費	207 件加入	1,250,000 円

積立金	福祉基金積立	13 件	1,605,174 円
	設備等整備積立	11 件	723,316 円
	修繕積立	4 件	700,000 円

地域福祉事業

< 小地域福祉活動推進事業 >

◇ 住民が主体となった福祉活動の支援

- ・ 地域づくり協議会に定期的に参加し、地域住民との意見交換や情報提供を行いました。
- ・ 小地域福祉活動推進モデル集落を 7 集落指定し、集落の将来を見据えこれからの福祉活動について集落で検討する機会を作ることができました。また、モデル集落を中心とした小地域福祉活動に取り組む集落を対象に小地域福祉活動連絡会を開催し課題の共有や情報交換を行うことで、自集落の活動の見直しや発展した活動へとつなげることができました。

(1) みそみ地区 地域づくり協議会福祉部会 10 回

(2) 小地域福祉活動推進モデル集落の設置 (共同募金審査委員会にて決定)

平成 29 年度～令和元年度：末野区、

平成 30 年度～令和 2 年度：気山区市、三生野区、下夕中区

令和元年度～令和 3 年度：気山区芋、無悪区、鳥浜区

(3) 小地域福祉活動連絡会の開催

開催日：6 月 17 日 会場：パレア若狭研修室 B 参加者：10 集落 12 名

< 福祉委員活動推進事業 >

◇ 福祉委員が地域福祉活動において中核的な役割を担う人材となるための支援

- ・ 福祉委員の改選に伴い、福祉委員のつどいを三方地域と上中地域で開催し 1 年目の活動のきっかけ作りを行いました。

福祉委員のつどい

三方地域開催日 5 月 23 日 リブラ若狭研修室 42 名参加

上中地域開催日 5 月 30 日 パレア若狭研修室 40 名参加

< ボランティアセンター運営事業 >

◇ 住民や企業に向けたボランティアセンターおよび災害ボランティアセンターの周知と PR

- ・ 小学校から福祉や障がいについての講義、車いす体験、高齢者疑似体験などの出前講座の依頼があり今年度も継続しました。点字サークルや手話のボランティアが講師を務め、点字学習・手話学習を行いました。
- ・ 災害情報や対策等を迅速により多くの方へ周知できるように SNS 等を活用し発信しました。

(1) ボランティアセンター運営委員会

7 月 31 日 運営委員 7 名参加

令和元年度若狭町ボランティアセンター運営事業計画について

2月25日 運営委員7名参加

令和元年度若狭町ボランティアセンター運営事業報告

(令和元年度福祉教育推進委員会事業報告)

令和2年度若狭町ボランティアセンター運営事業計画【案】について

(2) ボランティア登録、更新、斡旋業務の充実

個人ボランティア登録者数	60名
ボランティア団体登録数	2団体
ボランティア活動保険加入者数	831名

(3) 福祉教育の推進

福祉教育への対応、支援

(4) ボランティア出前講座の開催

5月14日	デイサービスセンター五湖の郷との交流	梅の里小学校
7月2日	講義(福祉について)	鳥羽小学校
8月20日	講義(福祉・障がい、共同募金について) 車いす体験	梅の里保育園
9月9日	講義(障がい・共同募金について)	鳥羽小学校
9月30日	講義(福祉・共同募金について) 高齢者疑似体験	瓜生小学校
10月11日	点字学習(外部講師依頼)	瓜生小学校
10月24日	点字学習(外部講師依頼) 手話学習(外部講師依頼)	鳥羽小学校 瓜生小学校
11月7日	講義(障がい・共同募金について) アイマスク体験	瓜生小学校
11月13日	手話学習(外部講師依頼)	鳥羽小学校
11月28日	高齢者疑似体験・アイマスク体験	梅の里小学校
12月3日	高齢者疑似体験・車いす体験	三宅小学校
12月4日	人権講演会(外部講師依頼) ほたる熊川宿との交流	梅の里小学校 熊川小学校
12月9日	車いす体験	三方小学校
12月12日	車いす体験 デイサービスセンターパレア若狭との交流	梅の里小学校 三宅小学校
12月13日	高齢者疑似体験	三方小学校
1月21日	車いすバスケットボール体験(外部講師依頼)	瓜生小学校
2月13日	手話学習(外部講師依頼)	三方小学校

(5) 家屋補修支援事業

三方地域	8月25日	希望者4件	実施4件	ボランティア10名
上中地域	12月1日	希望者23件	実施16件	ボランティア20名

(6) ボランティア活動への支援

図書館ボランティア『虹の会』 おげんきですか発行支援 6回

(7) 地域で支える送迎サービス

利用登録者 160名 貸出件数 218件 利用延人数 1,179名

(8) ボランティアのつどい参加

11月30日福井県ボランティア月間30周年記念交流会に、みそみ買い物メイトから2名参加し、県内様々なボランティア団体と交流・情報交換を行いました。

(9) 若狭町災害ボランティアセンター連絡会

10月24日 第1回連絡会協議会 12名参加

内容：平成30年度災害ボランティアセンター連絡会運営事業報告
令和元年度災害ボランティアセンター連絡会活動予定【案】

10月27日 防災訓練(町主催) 1名参加

内容：避難所運営シミュレーション

11月15日～11月20日 長野市南部災害ボランティアセンター運営支援
1名参加

1月24日 第2回連絡会協議会 10名参加

内容：災害ボランティアセンター設置・運営時の疑問点について

2月18日 第3回連絡会協議会 12名参加

内容：令和元年度災害ボランティアセンター連絡会運営事業報告
令和2年度災害ボランティアセンター連絡会活動予定【案】

<送迎支援サービス事業>

◇ 住民のニーズを踏まえた送迎支援サービスの検討

- ・野木地区でボランティアによる送迎団体の立ち上げに向けて検討を始めており、課題解決を含め活動出来るよう支援しています。

(1) 外出支援サービス事業(上中地域 87名、三方地域 189名)

(2) 個人用福祉車両貸出し事業(18件)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外出支援	560	55	45	50	38	48	42	278
		24	20	27	28	20	21	140
個人用貸出	33	1	2	2	3	6	2	16
		0	1	1	0	0	0	2

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外出支援	55	46	40	31	26	29	227	505
	26	24	24	23	19	20	136	276
個人用貸出	1	2	1	0	1	2	7	23
	1	5	3	1	1	5	16	18

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

<福祉総合相談事業>

- ◇ 相談日に関わらない住民からの相談への対応
 - ・ 必要に応じて居宅介護支援事業所や相談支援センターとの連携をとり、情報提供や相談を行いました。
 - (1) 心配ごと相談
 - 毎月第2火曜日 12回開催 相談件数 3件(上中地域3件、三方地域0件)
 - (2) 無料法律相談
 - 毎月第2火曜日 12回開催 相談件数43件(上中地域26件、三方地域17件)

<生活困難者支援事業>

- ◇ サービス利用者に合わせた適切な支援
 - ・ 地域住民や民生児童委員、関係機関と密に連携を取りながら、利用者の自立に向けて適切なサービス提供を行いました。
 - ・ 必要時には居宅介護支援事業所や相談支援センターと気がかりな方の情報交換や相談を行いました。
 - (1) 日常生活自立支援事業
 - (新規契約3件、契約終了4件、現在利用中17件)
 - 5月17日 令和元年度 日常生活自立支援事業 担当者会議
 - 6月18日 市町社会福祉協議会 地域福祉担当者会議
 - 9月18日 成年後見制度研修会(若狭町ケアマネ連絡会)
 - 10月7日 日常生活自立支援事業専門員連絡会
 - 1月29日 令和元年度 高齢者相談機関連絡会
 - 2月7日 包括的な相談支援対応力向上研修
 - (2) 金銭等管理事業
 - (新規契約3件、契約終了1件、現在利用中5件)
 - (3) ふくしの資金貸付事業
 - 生活福祉資金貸付
 - (新規契約0件、契約終了2件、現在利用中12件)
 - 5月24日 令和元年度二州地域生活福祉・就労支援協議会

- 5月28日 令和元年度若狭地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- 7月4日 小浜警察署犯罪被害者等支援地域ネットワーク総会
- 8月27日 貸付金償還にかかる面談会
- 11月19日 令和元年度生活福祉資金貸付事業関係職員研修会
- 11月26日 居住支援ワーキング in わかさ地区
- たすけあい金庫貸付 0件
- 緊急食糧支援事業 3件

< 広報活動 >

◇ 住民に分かりやすい広報活動

- ・誰もが分かりやすく読みやすい内容を目指して掲載しました。
- ・ホームページやSNSを使った情報発信についても随時行いました。

(1) 社協だよりの発行 4、6、8、10、12、2月発行

< 介護予防・生活支援 >

- ・月によっては車椅子の一時的な貸出が多く在庫が少ない時期がありました。

(1) 介護用品無料貸出事業

ベッド	貸出し中	9台(残 3台)
車いす	貸出し中	10台(残 18台)
スロープ	貸出し中	0台(残 5台)
サイドテーブル	貸出し中	0台(残 3台)

< 共同募金助成金事業 >

集落での活動、障がい者や生活困難者への支援などさまざまな地域福祉事業への共同募金助成金の活用

【一般募金助成金事業】

- ・小地域福祉活動推進モデル集落(7集落)への助成
- ・きらりアート展の開催

10月17日(木)~10月28日(月) 応募数 163点

- ・要援護者支援調査

若狭町内の要援護者についての調査を行う費用として活用しました。

【歳末たすけあい募金助成金事業】

- ・広報啓発活動事業

社協だより発行にかかる費用に活用しました。

- ・障がい児クリスマス会

障がいを持った子ども達とその家族を対象に実施しました。

開催日: 12月15日(日) 参加者: 33名

- ・ 歳末ひとり暮らし高齢者激励事業
町内在住で70歳以上、町内に実子がないひとり暮らしの方を対象に「そば・黒豆」「花・お茶」「日用品」から希望の品を福祉委員へ配布し、福祉委員に安否確認・孤独感の緩和を兼ねて訪問・渡ししていただきました。
配布日：12月18日（水） 対象：57集落 231名
- ・ 歳末たすけあい福来たる事業
生活保護受給者へお米と日用品を社協職員がお届けしました。
実施日：12月26日（木） 対象者：19名
- ・ 障がい者ニコニコスマイル訪問事業
町内在住で身障手帳1、2級を所持している一人暮らしの方と、18歳未満の身障手帳をお持ちの方に社協職員がタオルセットをお届けしました。
実施日：12月中旬 対象者：19名
- ・ 要援護者支援調査
若狭町内の要援護者についての調査を行う費用として活用しました。

通所介護事業

- ◇ 安心した在宅生活の継続を目的とした他職種との連携および柔軟なサービスの提供
 - ・ 認知症利用者の対応はチームケアで取り組み、在宅生活が継続できるよう支援することが出来ました。
 - ・ 慣れ親しんだボランティアの協力を得て地域の関わりを持つことが出来ました。しかし、新規ボランティアの開拓は難しく今後の課題となりました。

< デイサービスセンターパレア若狭 >

- ◇ 充実した認知症ケアの提供
 - ・ 個々のニーズを受け入れ関係機関との連携を取りながら個別対応することで、認知症利用者の在宅生活の継続と家族への支援が出来ました。
 - ・ 認知症利用者への職員の関わりが、他利用者への理解につながり良い影響をもたらしました。互いを尊重し認め合い、励まし合う場面がみられました。
- ◇ 地域資源を取り入れた交流
 - ・ 読み聞かせボランティア3団体との交流が定期的であり、それぞれの特徴が活かされる幅広い交流となりました。
 - ・ 近隣小学校から米の寄付があり、利用者から感謝の言葉を直接伝えることができ、世代間交流が出来ました。
 - ・ 感染症の利用者を受け入れたことで、保健所や専門機関と情報共有をして適切な対応をとることが出来ました。また、感染予防対策を見直す機会となり職員の意識向上につながりました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,500	311	340	338	329	346	290	1,954
		298	308	256	313	339	311	1,825

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	305	294	285	253	247	252	1,636	3,590
	311	302	306	321	320	358	1,918	3,743

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：7名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	1,393	109	119	98	124	123	103	676
		120	120	110	120	106	109	685

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	119	120	108	103	96	108	654	1,330
	106	109	109	113	108	104	649	1,334

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< デイサービスセンターいずみ >

◇ 機能訓練の充実

- ・ リハビリ体操に毎日繰り返し取り組む事で、定着に繋がりました。さらに砂袋で負荷を掛けた体操も取り入れ、機能維持に向け充実した時間を確保する事が出来ました。

◇ 地域交流の充実

- ・ 毎月3団体との交流に加え、他のボランティア団体とも交流が出来ました。世代を越え、皆が地域の一員としてそれぞれの役割を担いながら交流することが出来ました。

◇ 認知症の理解を深めた柔軟な対応の提供

- ・ 課題解決に応じて関係機関と連携を取りながら情報を共有し、その人がその人らしく過ごせるよう支援することが出来ました。

◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,323	228	249	233	270	308	297	1,585
		284	300	360	382	377	351	2,054

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	302	273	261	231	277	286	1,630	3,215
	356	353	342	351	335	342	2,079	4,133

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：7名、営業日：火曜日・金曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	562	49	43	54	41	41	34	262
		26	27	21	27	33	33	167

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	49	38	33	34	26	28	208	470
	39	44	34	36	42	43	238	405

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< デイサービスセンター五湖の郷 >

◇ 地域に根差した運営を目的にボランティアの積極的な受け入れ

- ・年間を通して、地域の運転ボランティア 4 名と読み聞かせボランティア 3 名の方のご協力を頂くことが出来ました。
- ・地域のボランティアの方や地域住民の方に事業所の活動を知って頂けるよう交流や創作に取り組み展示作品を見ていただくことが出来ました。

◇ 認知症の専門的知識を習得した質の高いサービスの提供

- ・新たに 1 名の職員が認知症実践者研修を受講し、より認知症の方への関わりを深く持つことが出来るようになりました。

◇ 重度利用者の受入れ強化

- ・重度の方の利用受入れを積極的に行い、新たに胃ろうの方、送迎負担の大きい利用者の受入れを実施し、退院後の在宅復帰のサポートすることが出来ました。

◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
通所介護	3,900	304	312	302	296	279	292	1,785
		351	358	302	305	291	295	1,902

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
通所介護	337	339	327	295	295	363	1,956	3,741
	308	302	289	254	229	247	1,629	3,531

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

◇ 利用実績（定員：5名、営業日：月曜日～金曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
緩和型 A 型	48	0	0	3	4	3	4	14
		4	4	4	4	3	4	23

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
緩和型 A 型	4	3	3	4	4	4	22	36
	5	8	7	7	8	9	44	67

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

居宅介護支援事業所パレア若狭

◇ 主任ケアマネジャーの配置

- ・ 主任ケアマネジャー更新研修受講の為の法定研修にファシリテーターとして参加しました。また更新研修も受講しました。
- ・ 法定研修における実習受け入れについては、6月に実習1名を受け入れ県へ報告が完了し、人材育成に協力しました。
- ・ 週1回のケアマネミーティングでの事例検討を行い、全員で困難事例や困っている事等を相談するなど、ケアプラン作成や対応等の相談を行いました。
- ・ 福祉総合窓口としての周知については、パレア若狭本所のカウンターに「相談窓口」の提示を継続しています。

◇ ケアマネジャーの資質向上

- ・ 主任ケアマネの更新研修を修了しました。
- ・ 5月に難病研修会(福井県立大学)、9月に災害時の利用者対応について(訪看わかさ)を受講しました。
- ・ 毎週1回、事例検討、報告、事業内容確認等の定期会議を開催しました。
- ・ ケアマネ連絡会に参加し6月認知症研修、7月精神疾患に関する研修、9月成年後見制度に関する研修、10月訪問看護合同研修会に参加しました。

◇ 地域福祉事業、小規模多機能ホーム、障がい者相談支援センターとの連携強化

- ・ 地域福祉事業の金銭等管理事業利用者や障がい福祉サービスの利用者について、生活に必要な支援ができるよう相談を行いました。
- ・ 利用者の状況に合わせ、小規模多機能ホームや金銭等管理事業の紹介や相談を行いました。

◇ 利用実績

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
居宅介護支援	1,702	123	124	127	125	134	134	767
		149	145	148	150	147	148	887

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
居宅介護支援	129	133	133	131	137	147	810	1,577
	139	119	114	108	107	102	689	1,576

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

相談支援センターわかさ

- ◇ 福祉、医療、行政等関係機関との連携強化
 - ・ 障害福祉サービス事業所（生活介護、就労継続支援等）と連絡を密にとりながら、医療機関（病院、訪問看護）や居宅介護支援事業所とも積極的に連携を図り必要な情報を交換しました（担当者会議開催、カンファレンスへの参加等）。また、行政機関（市町行政、児童相談所等）や教育機関との連携強化にも努めました。
 - ・ 自立支援協議会（1回/月）や精神保健連絡会（1回/2ヵ月）等へ参加し、知識の向上を図るとともに関係者と情報共有しました。
- ◇ 総合相談窓口としての機能充実
 - ・ 必要時には社協内の他事業（居宅介護支援事業、地域福祉事業等）と事例検討等を行い、情報共有や相談をすることで総合相談窓口としての機能充実に努めました。
 - ・ 障害福祉サービス以外の知識習得にも努め、利用者に必要な制度やサービスを紹介しました。
- ◇ 利用実績

< 特定相談支援事業 > 計画 34 件、モニタリング 120 件 (単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
特定相談支援	152	15	7	14	14	14	19	83
		22	8	13	10	11	16	80

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
特定相談支援	17	12	12	11	14	14	80	163
	14	8	11	11	11	19	74	154

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 障害児相談支援事業 > 計画 19 件、モニタリング 36 件 (単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障害児相談支援	68	9	9	8	9	9	10	54
		14	3	3	6	5	5	36

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障害児相談支援	8	6	9	9	2	2	36	90
	1	1	10	2	3	2	19	55

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生活支援ハウス

- ◇ 高齢者が安心して健康で明るい生活を送るための活動支援
 - ・ 冬期間の申請は 12 名ありましたが、暖冬のためキャンセルされる方や入居日を遅らせたり、退居日を早められた方があり空室がありました。
 - ・ 冬期間でも空室が出来たため、長期入居の希望者や短期入居者へ柔軟に対応しました。
 - ・ 退居後、地域資源や各種サービスを利用し在宅生活が安全に再開できる様、家族や各関係機関とも連携し、在宅復帰への支援を行いました。
 - ・ デイパレアの行事等に参加し、利用者と交流を行いました。

- ◇ 各関係機関との連携強化による適切な運営
 - ・ 各関係機関に空き状況等の情報提供を行うことで、利用促進に努めました。

- ◇ 利用実績（居室利用定員：12 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活支援ハウス	3,059	210	156	77	99	288	292	1,122
		126	103	92	154	167	158	800

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活支援ハウス	247	231	298	365	299	227	1,667	2,789
	119	125	288	335	320	260	1,447	2,247

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

ホームヘルプサービスいずみ

- ◇ 中重度対応、障がいヘルプ対応の強化
 - ・ 訪問看護との連携や往診や通院時に情報提供できるよう、医療との連携を積極的に取り組みました。
 - ・ 認知症や病気に対する困難事例と向き合い、家族や利用者の意見を傾聴し寄り添いながらケアを行いました。
 - ・ 利用者の残存機能を活かし、自立支援を目的としたサービス提供を行いました。
- ◇ 訪問介護に求められるサービス提供と人材確保
 - ・ 地域ケア会議に積極的に参加し、情報共有することで安心したサービス提供ができ、ヘルパーの仕事の内容を知ってもらう良い機会がもてました。
 - ・ サービス提供責任者の役割を強化することで、職員間の情報共有や同行訪問がスムーズにできました。
- ◇ 利用実績 (営業日：月曜日～日曜日 ただし、1月1日～3日までは除く)

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問介護(介護)	8,584	672	616	653	725	756	709	4,131
		625	664	701	834	732	804	4,360
緩和型 A 型	493	31	44	41	42	41	46	245
		47	49	46	44	47	39	272
訪問介護 (障がい)	657	25	35	50	67	66	46	289
		55	61	45	64	80	67	372

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問介護(介護)	763	829	803	761	765	667	4,588	8,719
	781	652	650	592	650	682	4,007	8,367
緩和型 A 型	55	34	44	42	39	43	257	502
	46	42	44	41	38	40	251	523
訪問介護 (障がい)	76	51	55	38	45	67	332	621
	64	63	58	41	44	44	314	686

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

訪問看護ステーションわかさ

- ◇ 各関係機関、他の事業所との連携強化
 - ・ 日々の訪問の中で小さな変化を見逃さず、課題が発生した時には関係機関と連携し病状の悪化予防に努めました。また頻回にケース検討を行い、より良いサービスの提供に努めました。
 - ・ 入退院時の受け入れや状態の不安定な時期への関わりを手厚くし、緊急な訪問要請への迅速な対応や必要なサービスの導入への働きかけを行い、在宅で安楽に過ごせるよう支援しました。
 - ・ 利用者の状態に応じて各関係機関との連携を強化したサービスを導入する事により、悪化予防とQOLの改善に働きかけることが出来ました。
 - ・ 介護技術の指導や実践を家族と共に行いながら、家族の介護力の向上及び緊急時の対応の強化を図りました。
 - ・ 地域のサロンへ参加し健康維持に必要な助言や指導を行い、住民の身体機能維持及び向上に努めました。

- ◇ スタッフの質の向上
 - ・ 研修への積極的な参加や訪問時に感じた不安点や疑問点等の解決を目指した内部研修を企画し、質の向上を図りました。
 - ・ 看護学生の実習指導により、訪問看護の推進やスタッフの資質向上が図れました。

- ◇ 24時間対応の継続
 - ・ 状態の変化から起こりうる急変を予測し、情報の共有や緊急対応の検討をしました。また緊急時の連絡先を増やし、緊急対応の強化を図りました。
 - ・ 待機の継続期間の短縮や適宜交代する等、スタッフの心身の負担の軽減に努めました。
 - ・ 在宅での看取りの支援や医療と介護の連携を深め、利用者及びそのご家族が安心して在宅生活が継続できるよう支援しました。

- ◇ 健全経営を目的とした経営改善計画の実施
 - ・ 新規や追加の訪問を受入れ、実績の向上に努めました。また、居宅介護支援事業所への働きかけを積極的に行い、新規依頼数増加に繋がるよう行動しました。
 - ・ 異常の早期発見と対応に努め、入院期間の短縮や悪化の予防を図り実績の確保に努めました。
 - ・ 互いの職種を生かした関わりを行い必要なサービスの導入を促し、新規獲得に努めました。

◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日 ただし祝日、年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
訪問看護(予防)	740	66	64	56	53	72	67	378
		44	54	55	65	63	55	336
訪問看護(介護)	4,612	353	354	337	381	410	321	2,156
		354	327	335	377	366	361	2,120
訪問看護(医療)	1,380	103	110	112	121	133	92	671
		119	126	126	132	136	109	748

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
訪問看護(予防)	66	62	52	59	51	46	336	714
	60	56	53	64	63	70	366	702
訪問看護(介護)	386	346	322	295	311	346	2,006	4,162
	397	328	295	259	277	318	1,874	3,994
訪問看護(医療)	120	112	102	88	125	115	662	1,333
	128	104	116	74	68	81	571	1,319

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

生きいきふれあい館

- ◇ 介護予防および地域交流、世代間交流の場等全世代の公共施設としての利用促進
 - ・ より多くの住民の方に利用していただけるように、社協だよりで生きいきふれあい館のPR活動を実施しました。
 - ・ 新型コロナウイルス感染予防のため、2月28日午後より利用休止の対応をとりました。
- ◇ 利用実績

(単位：延利用団体数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生きいき	840	59	64	57	66	51	63	360
ふれあい館		60	59	61	66	50	58	354

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生きいき	71	73	82	89	94	75	484	844
ふれあい館	76	60	79	83	90	0	388	742

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

葬祭事業

- ◇ サービスの向上
 - ・ ご遺族の方に穏やかな追想のときを過ごしていただけるよう、心をこめて業務にあたっています。
 - ・ 地域に根ざした施設運営として北前川老人会による施設周辺清掃を全10回（1月2月を除く毎月第3日曜日）受入れました。
- ◇ 利用実績

(単位：件数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
葬祭事業		9	15	15	12	15	16	82
		22	15	15	19	11	18	100

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
葬祭事業	16	11	16	23	18	26	110	192
	15	17	16	20	17	26	111	211

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

コミュニティカフェきらやま茶屋（障害者就労継続支援B型）

- ◇ 町内外の企業と連携できる事業所づくり
 - ・ 各企業から内職の完成度が高く評価され、利用者の自信に繋げる事ができました。
 - ・ 各企業から製造依頼の相談や商品の起案に情報提供を行いました。
- ◇ 町内企業や三方駅周辺施設の情報を発信できる施設づくり
 - ・ 町内企業や駅周辺施設を観光客が安心して利用できるよう、企業や施設との協力を行いました。
 - ・ 町内の団体が開催するイベントへ協力し、SNS等で情報の発信を行いました。
- ◇ 就労支援事業所として健全経営を行うための仕組みづくり
 - ・ 毎月1回、実績を基に経営改善のための会議を行いました。
 - ・ 地域住民が企画した住民・観光客参加型のイベントへ職員が参加協力し、普段カフェ等の利用が難しい子育て世代との交流を行いました。
 - ・ 販路拡大を目的に自主製品の改良や商品の売り込みを行い、店頭販売への協力依頼に取り組みました。
- ◇ 利用実績（定員：20名 営業日：月曜日～金曜日、ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

（上半期）	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
就労継続支援	2,945	210	237	209	230	255	194	1,335
		234	245	231	227	193	194	1,324
カフェ	6,451	617	534	438	582	661	413	3,245
		400	420	353	471	441	370	2,455
売店	3,821	424	548	312	330	287	233	2,134
		203	359	209	231	228	195	1,425

（下半期）	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
就労継続支援	237	227	229	208	238	230	1,369	2,704
	216	212	214	193	186	211	1,232	2,556
カフェ	493	515	376	327	465	461	2,637	5,882
	479	428	389	401	376	241	2,314	4,769
売店	303	293	250	187	235	187	1,455	3,589
	168	190	181	160	180	186	1,065	2,490

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

小規模多機能ホーム

- ◇ 利用者と地域の関係性を深める事を目的とした事業所交流および連携による地域交流の活性化
 - ・ 3つの事業所が連携し配置基準が満たせるよう、その都度臨機応変にシフトを組み、過不足のない職員体制作りを努めました。
 - ・ 利用者のニーズを加味しながら通いの回数の均等化を図り、公平なサービス提供を可能な限り行いました。
 - ・ 地域の資源となる方たちと積極的に関わり、連携を強化することで利用者が地域の中でこれまで通りの暮らしができるよう支援を行いました。

<小規模多機能型居宅介護ほたる熊川宿>

- ◇ 地域住民と連携した利用者地域とのつながりが途切れない支援の強化
 - ・ 地域住民の方も参加できる行事（餃子づくり・ほたる祭り）を企画しました。地域住民の方がより多くほたるに来て、参加して頂けるように回覧版や案内チラシを全戸配布しました。
 - ・ 上半期は職員体制が整わずサロンに職員が出向き、健康チェックや運動などの支援を行う事が出来ませんでした。下半期はサロンに積極的に出向き体操や脳トレなどの支援を行いました。
 - ・ 広報誌を年間通して発行する事が出来ました。（年4回発行）
- ◇ 一人ひとりのニーズに合わせた柔軟な対応を行えるサービス提供
 - ・ 各行事の際には、広報誌を活用し地域の中の気になる高齢者にも積極的に声掛けして体験利用を募りました。
 - ・ 一人ひとり個々のニーズに対応できるよう、定期的にスタッフミーティングを行い職員間の情報共有を密にしました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

(上半期)	年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	151	14	12	12	12	14	14	78
居宅介護		12	13	13	14	13	13	78

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	12	12	11	12	12	12	71	149
居宅介護	13	12	14	13	15	14	81	159

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護みさき >

- ◇ 地域の方が気軽に立ち寄れる福祉相談窓口としての場所づくり
 - ・ 普段みさきに立ち寄られない地域の方を招いてのお茶会を、年間 2 回開きました。普段なかなか会えない地域の方同士の交流にも繋がりました。
 - ・ 地域のお年寄りにボランティアで協力していただきながら 6 回の干物作りを行ないました。介護が必要になりつつある身近な方の相談に繋がり、ボランティアで来て下さった方の利用につながりました。
 - ・ 「みさき通信」に福祉相談窓口としての機能について情報提供しました。大まかな相談内容を掲載することによって、より身近な相談窓口として知ってもらうことが出来ました。

- ◇ 地域医療との連携強化
 - ・ 体調面での不安を軽減するために、細かな状態の変化や日々のバイタルを医療機関に伝え連携を図りました。
 - ・ 在宅生活を継続するための健康面での問題や対応について迅速に対応できるよう往診時や受診時に付き添いや同席を行ないました。

- ◇ 利用実績（定員：18 名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

(上半期)	年間 目標	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
小規模多機能型	157	12	12	12	12	12	11	71
居宅介護		13	13	12	11	14	13	76

(下半期)	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	合計
小規模多機能型	11	11	11	12	10	10	65	136
居宅介護	14	12	12	12	11	12	73	149

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 小規模多機能型居宅介護きやま虹の家 >

- ◇ 地域の方々との交流の活性化
 - ・ 「にじカフェ」や「春休み・夏休み企画」などの行事をはじめ、日常において小学生や地域の方々に気軽に立ち寄ってもらい、地域の福祉拠点として交流を図りました。
 - ・ 利用実績...小学生延 52 名、保育園児・乳児延 14 名、地域住民延べ 132 名（上記以外にも日常的に交流を図りました。）

- ◇ 得意なことを活かし笑顔の生活を支援
 - ・ 旬の野菜を育て収穫し、なじみの味付けで調理することや、縫い物、脳トレなど得意なことを活かし、機能訓練を図りながら充実した生活を過ごしていただきました。
 - ・ 町内外の伝統的な祭りに参加することや外食などで楽しみを共有し、生き生きとした活動を支援しました。

- ◇ 利用実績（定員：18名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：登録者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
小規模多機能型	180	11	11	11	12	14	14	73
居宅介護		15	15	16	16	17	17	96

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
小規模多機能型	15	15	17	16	14	15	92	165
居宅介護	16	16	15	16	16	14	93	189

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

介護予防拠点施設五湖の郷

- ◇ 地域交流の場としての機能強化
 - ・ 五湖カフェについて、営業回数は 18 回、延べ利用者数は 481 名でした。カフェ営業に合わせたイベントは 2 回実施することができました。3 月については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため予定していた 2 回は中止となりました。
 - ・ 今年も 8 月 3 日（土）に、西田地区の祭りとして第 2 回梅の里夏まつりを開催しました。今年は西浦地域づくり協議会も実行委員として参加し、常神まで全ての集落を対象に実施することができました。地域住民の交流はもちろん、五湖の郷入居者や利用者との交流も深まりました。

- ◇ ボランティア活動の推進
 - ・ 定期的に活動いただいているボランティアは運転ボランティア、カフェ運営ボランティア、レクリエーションボランティアとなっており、延べ 341 名の方が五湖の郷で活動されました。

- ◇ 福祉学習の推進
 - ・ 梅の里保育園の年長組と年間 10 回の交流を行いました。通所サービスを中心に交流していますが、特養入居者等も参加し交流することができ、障がい者、高齢者と地域の保育園児が身近にふれあう機会を持つことができました。また、上中中学校の施設見学も受入れを行いました。

特別養護老人ホーム五湖の郷

< 特養事業 >

- ◇ 入居者の個性や生活リズムを尊重した暮らしの支援
 - ・ ユニット会議や担当者会議にて入居者一人ひとりが望む暮らしの情報を把握・共有しながら、24時間シートを使い、必要なサポートについてケアの統一に取り組みました。
 - ・ 外部研修に12回（職員7名）参加し職員の意識改革やスキルアップを図りました。

- ◇ 利用実績（定員：29名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
特別養護	10,401	854	899	866	893	849	820	5,181
老人ホーム		829	809	846	841	852	847	5,024

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
特別養護	823	832	835	854	783	883	5,010	10,191
老人ホーム	853	861	856	884	841	888	5,183	10,207

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 高齢ショート事業 >

- ◇ 家庭の延長として利用者の生活リズムに合わせた暮らしの継続
 - ・ 利用する目的や楽しみ作りに向け、利用者が行いたい余暇活動等の情報把握と実施に努めました。
 - ・ 家族の精神的・肉体的負担の軽減に向け、利用者の怪我や事故を少なくし、利用期間延長などの要望に応えられるよう努めました。

- ◇ 利用実績（定員：10名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
高齢者ショートステイ(予防)	20	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	4	0	0	0	4
高齢者ショートステイ(介護)	3,091	207	235	251	272	283	263	1,511
		218	227	227	248	248	243	1,411

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
高齢者ショート	2	3	3	2	1	3	14	14
ステイ(予防)	0	0	0	0	0	0	0	4
高齢者ショート	260	256	273	252	213	238	1,492	3,003
ステイ(介護)	251	231	266	242	236	266	1,492	2,903

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

認知症対応型グループホーム五湖の郷

- ◇ 地域住民と共に行う施設活動
 - ・ 定期開催をしているグループホーム運営推進会議で、近隣サロンとのつながりを持っています。活動を通じて、認知症の理解促進や五湖の郷の利用を勧めることが出来ました。
 - ・ 事業所周辺地域とは日々の活動の中で、関わりを持ち続けています。住んでいた地域や馴染みの方との関係を継続する為、家族や知り合いの方へ情報収集を行い、面会や外出に繋がりました。

- ◇ 地域のニーズに応じるための職員の専門性強化
 - ・ 職員のスキルアップに繋げる為、長期研修も含め外部研修へ2名参加することができました。感染症予防対策としての五湖の郷内研修に職員全員が参加しました。
 - ・ 毎月実施しているケース会議の中で、情報と目的の共有ができました。入居者の状態の変化に対応していくことで認知症への理解を深めることが出来ました。
 - ・ 専門職（医療、リハビリ、各業者等）と連携を取る為に状況に合わせて、文書や電話での情報提供や受診時の同行を行っています。緊急時の対応を家族に寄り添い行うことで、良い関係を築けています。また、キャラバンメイト連絡会に参加することで、包括支援センターや他事業所の職員と連携が取れる体制が作れました。

- ◇ 利用実績（定員：9名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
グループホーム	3,260	269	274	253	279	259	240	1,574
		270	278	258	273	275	268	1,622

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
グループホーム	264	270	277	270	252	279	1,612	3,186
	279	270	278	272	261	261	1,621	3,243

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者日中活動支援施設

- ◇ 障がいの程度やニーズに応じた支援の強化
 - ・ 個々の障がいの特性に応じて、同時刻に複数のレクリエーション活動を行うことができました。（創作活動、生産活動、余暇活動、機能訓練、社会適応訓練、園芸療法など）日々やりたい活動を自身で選択できたことにより、利用者の活力を引き出すことができました。
- ◇ 地域住民に対する障がい者理解の促進
 - ・ 地域住民と接する為に野外行事活動を年間で 45 回実施しました。その他に、レクリエーション活動ボランティアの受け入れを 32 回行いました。
 - ・ 今年度から新たに世久見観光組合の協力のもとアルミ缶回収量が増え、昨年度より約 27,000 個相当増えました。

< 障がい者デイサービス事業（生活介護） >

- ◇ 個々のニーズに応じたサービスの提供と支援の強化
 - ・ 利用者に目標を立ててもらい、職員はその目標に近づけられるよう日々サポートしました。
 - ・ 生産活動においては、作業回数が前年度より 410 回増え、作業意欲のある利用者の要望に応える事ができました。

- ◇ 利用実績（定員 20 名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

（単位：延利用者数）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
生活介護	3,216	270	293	269	287	289	268	1,676
		269	284	276	280	259	264	1,632

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
生活介護	283	287	273	254	261	277	1,635	3,311
	274	261	275	245	246	271	1,572	3,204

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 日中一時支援事業 >

- ◇ 十分な職員体制を整え希望通りに利用できる事業運営
 - ・利用者や家族の要望に沿ったサービスが提供できるよう職員体制を整えて対応しました。3月には新型コロナの影響で学校が休校になり、児童の受け入れ要請が増えましたが、柔軟に対応できました。

- ◇ 利用実績（定員 1～4名、営業日：月曜日～土曜日 ただし年末年始は除く）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
日中一時支援	672	61	74	56	72	88	63	414
		56	46	49	55	48	44	298

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
日中一時支援	65	57	62	46	44	53	327	741
	41	39	53	47	44	56	280	578

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

障がい者ケアホーム五湖の郷

- ◇ 余暇を中心とした個別支援による生活の質の向上
 - ・ 移動支援事業については、限られた方にしかサービスを提供できませんでしたが、障がいデイサービスと連携しながら、趣味や運動の時間など個別の余暇について支援することができました。
 - ・ 毎月の会議後に研修を行い、利用者個々のアセスメントやケース検討を行い、日々の生活支援に繋げることができました。

< ケアホーム事業 >

- ◇ 利用者が住み慣れた場所で、できる限り長くいきいきと生活できる支援
 - ・ 利用者の高齢化やそれに伴う医療や家族の状況にも、各関係機関と連携しながら対応することができました。
 - ・ 健康面や清潔面への支援を強化しました。
- ◇ 利用者からの相談への対応や余暇支援の充実
 - ・ 外部のヘルパーの実績はありませんでしたが、会議や研修で個別支援について力を入れることで利用者への個別の対応を手厚くすることができました。

- ◇ 利用実績（定員：7名 営業日：月曜日～日曜日）

(単位：延利用者数)

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
ケアホーム	2,417	192	204	180	217	217	179	1,189
		150	195	200	198	204	196	1,143

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
ケアホーム	183	203	206	204	190	209	1,195	2,384
	207	201	199	195	180	197	1,179	2,322

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 障がいショート事業 >

- ◇ 利用者が希望する日に利用でき、家族の緊急時にも受け入れができるような体制の整備
 - ・ 長期間サービスが必要な利用者について、相談支援事業所及び他事業所と連携してサービスを提供することができました。
 - ・ 緊急時や困難なケースの依頼についても、定員内であれば担当職員を調整するなどして受け入れることができました。

◇ 利用実績（定員：2名 営業日：月曜日～日曜日）

（単位：延利用者数【1泊を1とする】）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
障がいショート	387	18	23	16	27	18	24	126
		39	36	34	36	24	30	199

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
障がいショート	42	46	33	25	30	33	209	335
	29	27	16	19	17	18	126	325

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

< 移動支援事業 >

◇ より多くの方に利用していただけるようなサービスの提供

- ・ 土曜日や日曜日のニーズが多いので、次年度からは日曜日に受け入れができるように体制を整えました。
- ・ 職員へ資格取得の情報提供を行うなど、サービス提供者の拡充に取り組みました。

◇ 利用実績（営業日：月曜日～金曜日）

（単位：延利用時間）

(上半期)	年間 目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
移動支援	308	23.5	12.5	19.5	8	12	17	92.5
		7	8.5	4	8.5	2	4	34

(下半期)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
移動支援	4	4	4	4.5	4.5	4.5	25.5	118
	2	2	4	3.5	0	3.5	15	49

上段は昨年度実績、下段は今年度実績

五湖の郷食事サービス

◇ 安心・安全な食事作り

- ・ 常に、気温と湿度の変化に気を配り、厨房内および調理後の食品温度管理を徹底しました。また、職員一人一人の日々の自己管理をしっかりと行い10月から2月にはノロウイルス検査を実施しました。毎月の検便検査においては、納品業者にも検査報告書を提出してもらいました。
- ・ 新型コロナウイルスの対応策として、納品業者の検品前消毒を徹底しました。
- ・ 非常時の食に関する知識を修得するための栄養管理推進研修会に参加し、日頃からの準備の必要性を学びました。これにより、災害時対応マニュアルの作成を現在行っています。また、食中毒予防に関する研修においては、工程管理の見直しを学び、改めて食中毒予防について認識しました。
- ・ 毎日、残食チェックを行い栄養面、嗜好に考慮し同時に材料費に無駄を省ける様に努力しました。また、納品業者と連携して季節に合った安価で美味しい地場産の食材を仕入れるようにしました。
- ・ 保健所の栄養管理指導による献立作成時の食品の選択において、誤りを訂正し、栄養量と塩分の確認をしました。また、不足しがちな栄養素について確認しました。

◇ 新しい食事提供内容の模索と、既存の施設および設備の活用方法の検討

- ・ 日々変わる利用者の嗜好に合った食事形態に対応しました。また、体調や状態の変化による食事内容の変更希望に対しても柔軟に対応しました。
- ・ グループホームにおいては、主菜以外をユニットで調理することで施設の設備を有効に活用しました。